

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2000333988 A**

(43) Date of publication of application: **05.12.00**

(51) Int. Cl. **A61F 13/472**
A61F 13/15
A61F 13/20

(21) Application number: **11186217**

(71) Applicant: **SUZUKI ETSUJI**

(22) Date of filing: **28.05.99**

(72) Inventor: **SUZUKI ETSUJI**

(54) NAPKIN WITH TAMPON

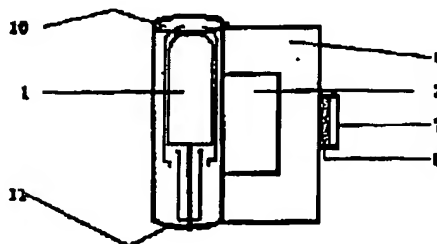
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To simultaneously carry a sanitary tampon and a sanitary napkin by winding the sanitary napkin on a peripheral surface of the tampon with a columnar applicator, heating/welding a thermally welding part protruding to both sides of the napkin, and individually installing the sanitary napkin and the sanitary tampon by an individually installing sheet.

SOLUTION: A sanitary napkin 2 is wound inside by an individually installing sheet 6 on a peripheral surface of a tampon 1 with an applicator covered with the applicator and a plunger. The sanitary napkin 2 is adhered to the separable individually installing sheet 6 by applying an adhesive for preventing dislocation from shorts to an outside surface of an absorbent. In the individually installing sheet 6 having a width slightly wider than the sanitary napkin 2, after rolling in the sanitary tampon 1, both ends 10, 11 of the individually installing sheet are heated and welded, and a rolling-in end line is fastened by an adhesive

tape 3. Thus, installing operation can be smoothly performed, and the sanitary napkin can be made compact at carrying time.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-333988

(P2000-333988A)

(43) 公開日 平成12年12月5日 (2000. 12. 5)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
A 6 1 F 13/472		A 6 1 F 13/18	Z 4 C 0 0 3
13/15		13/20	3 2 0
13/20	3 2 0		

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-186217

(22) 出願日 平成11年5月28日 (1999. 5. 28)

(71) 出願人 599079115

鈴木 悦司

東京都調布市深大寺北町2丁目22番地2号

(72) 発明者 鈴木 悦司

東京都調布市深大寺北町2丁目22番地2号

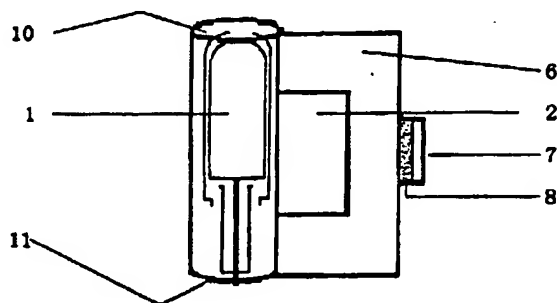
Fターム (参考) 4C003 EA01 EA04 GA08

(54) 【発明の名称】 タンポン付きナプキン

(57) 【要約】

【課題】 月経時の排泄液の吸収体を、生理用タンポンと生理用ナプキンを一つに個装する事により、吸収面での二重の安全性と、コンパクト構造によって、携帯時に第三者へ気付かれにくい上、パステルカラーに着色を施す事により、心理的にプラス効果をもたらすこの生理用タンポン付き生理用ナプキンは、「女性の性の開放」を、課題として発明したものである。

【解決手段】 着色を施した円柱形の生理用タンポンの周面に、生理用ナプキンを巻き付け一つに個装する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ナプキンの排泄液吸収体の外面に粘着剤を塗布して、ショーツへの粘着部を形成したものに於いて、この粘着部を、排泄液吸収体より幅広に形成された熱溶着性の個装シートの離型処理面で剥離可能に被覆し円柱状態のアプリーター付きタンボンの周面に渦巻き状に巻き付けて、ナプキンの両側にはみ出した熱溶着部を、加熱溶着し、個装シートで、タンボンとナプキンと一緒に個装してなる事を特徴とする、生理用タンボン付きナプキン。

【請求項2】 ア、生理用タンボン本体（吸収体）に、パステルカラーの着色を施す。

イ、生理用タンボンの引き出し紐に、着色を施す。

①オシャレ派 パステルカラー

②ナイーブ派 陰毛と同色カラー

ウ、生理用タンボンのアプリーターに、パステルカラーの着色を施す。

エ、生理用ナプキン及び個装シートにパステルカラーの着色を施す。

ア、イ、ウ、エ、の着色の構成は、消費者のニーズに合わせて、色々なパターンによって着色された構造が特徴の、請求項1に記載の生理用タンボン付きナプキン。

【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】 この発明は、生理用タンボンと生理用ナプキンに関する。

【従来の技術】 従来、女性の生理日における排泄液の吸収方法としてナプキンやタンボンがあるが、この2品を同時に携帯し、同時に装着可能なものはない。

【発明が解決しようとする課題】 現在は、月経の度に女性は排泄液を吸収処理する為に、生理用タンボンか生理用ナプキンを選択し使用している。しかし、生理用タンボンの使用者の殆どの女性が、膈内に挿入された吸収体本体では排泄液を全て吸収しきれず、紐を伝わり外部に染み出してショーツを汚してしまう事が発生してしまう為、生理用タンボンと生理用ナプキンの2品を同時に用意携帯しなくてはならないので、嵩張り、携帯時に第三者に生理中である事を認知されてしまった。生理中は、生理用品の購入時より第三者に認知されない様にかかなり神経を使う。携帯時も、よりコンパクトにポーチに忍ばせ、スマートに処理したいのが、女性の心理である。故に生理用タンボンと生理用ナプキンを同時に携帯する上で、円柱状のアプリーター付きタンボンの周面に生理用ナプキンを巻き付ける事により前記問題を解決する事を課題としている。又、女性にとって月経中は、痛い、汚れる、恥ずかしい等、マイナス心理で憂鬱な気分になり、生活も、月経中は引っ込み思案になり易い。パステルカラーの着色を施す事により、ショーツとの色の組み合わせを楽しんだり、生理用タンボンの引き出し紐に陰毛色に着色を施す事により、旅行時の入浴等も躊躇せず

に行動できる。この生理用タンボン付き生理用ナプキンは、「女性の性の開放」を課題として、発明したものである。

【課題を解決する為の手段】 本発明が、前記課題を解決する手段として、生理用ナプキンの排泄液吸収体の外面に粘着剤を塗布してショーツへの粘着部を形成したものである。この粘着部を、排泄液吸収体より幅広に形成された熱溶着性の個装シートの離型処理面で剥離可能に被覆し円柱状態のアプリーター付き生理用タンボンの周面に渦巻き状に巻き付けて、ナプキンの両側にはみ出した熱溶着部を、加熱溶着し、個装シートで、タンボンとナプキンと一緒に個装してなる事を特徴とする生理用タンボン付き生理用ナプキンに、心理的プラス効果を出す為パステルカラーの着色を施す。

【発明の効果】 この様に構成された生理用タンボン付き生理用ナプキンにおいて、まず左手に持ち、右手で個装シートの外面に一端を固着したフィルム7を摘み、巻き付けた生理用ナプキンを個装シートごと解き、左手の手のひらにアプリーター付き生理用タンボンを握り右手で個装シートより生理用ナプキンを剥離させ、生理用ナプキンにおける排泄液吸収体の外面の粘着部をショーツに装着後、左手に持ったアプリーター付きタンボンの、タンボン本体を押し出すプランジャーを引き出し、右手に持ち替え、膈内に挿入する。この一連の動作がスムーズに出来、携帯時は、コンパクトで第三者から生理日である事を悟られにくく、パステルカラーの着色により心理的にプラス効果が得られ、「女性の性の開放」の先駆けと成る生理用品ある。

【実施例】 添付の図面を参照して、この発明に関わる生理用タンボン付き生理用ナプキンを説明すると、図1は、生理用タンボンの斜視図、図2は、生理用ナプキンの平面図、である。アプリーター3とプランジャー4とで、被覆してなるアプリーター付きタンボンの周面に生理用ナプキンを内側に個装シートで巻き付けて構成されている。生理用タンボンは、指サックいらず、挿入し易いアプリーター付きでコンパクトである。生理用ナプキンは、吸収体の外面にショーツとのズレ防止の粘着剤を施し、剥離可能な個装シートに粘着させてある。図3は、図1の生理用タンボンの周面に、図2の生理用ナプキンを巻き付けた状態に於いて、粘着テープ8を剥離し、生理用ナプキンを少しだけ解いた状態を示す。生理用ナプキンより少し幅広の個装シートは、生理用タンボンを巻き込み後、個装シートの両端10・11を加熱溶着させ粘着テープで、巻き込みの終線を止める。

【図面の簡単な説明】

【図1】 生理用タンボンの斜視図

【図2】 生理用ナプキンの平面図

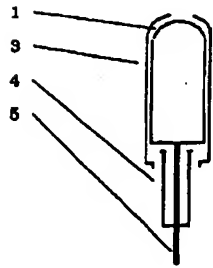
【図3】 個装シートを生理用ナプキンと同時に解いた状態の斜視図

【符号の説明】

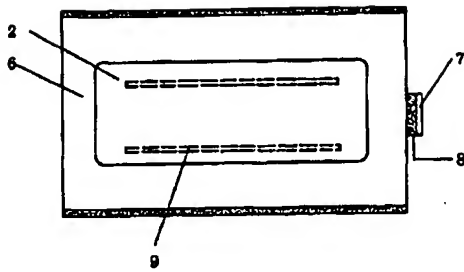
- 1 生理用タンポン
- 2 生理用ナプキン
- 3 アプリケーター
- 4 プランジャー

- 5 引き出し紐
- 6 個装シート
- 7 フィルム
- 8 粘着テープ部
- 9 粘着剤

【図 1】



【図 2】



【図 3】

